

麻布大学ティーチング・ポートフォリオ

所属 総合科学部門

職階 教授

氏名 佐原弘益

麻布大学では、教育研究活動その他大学の諸活動を恒常的に自己点検・評価し、その結果を検証して改善に結び付けることにより、教育の質保証を行う観点から、各教員が『ティーチング・ポートフォリオ』を作成しています。ティーチング・ポートフォリオの構成及び更新サイクルは以下のとおりです。

1. 教育の責任・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
2. 教育の理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
3. 教育の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
4. 教育の方法の改善・向上を図る取組・・・・・・・・・・ 毎年
5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組・・・ 毎年
6. 学生の学修成果向上を図る取組・・・・・・・・・・ 毎年
7. 指導力向上のための取組・・・・・・・・・・ 3年
8. 今後の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年

1. 教育の責任

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

学部生教育：基礎を学び、論理的な思考を身につけることで、問題解決の能力を身につける。

大学院生教育：論理的な思考に基づいた、科学的な視点で、膨大な情報の中から物事の核心にものを見いだして、問題解決の能力を身につける。

科目名	学科・専攻	単位種別	配当年次	受講者数(単位:人)
生物学	獣医学科	必須	1	148
生物学	動物応用科学科	必須	1	145
生物学入門	動物応用科学科	選択	1	42
生物学入門	獣医学科	自由	1	8
生態学	獣医学科	選択	1	116
生態学	動物応用科学科	必須	1	139
専門ゼミ	動物応用科学科	〃	3	3
卒業論文	動物応用科学科	〃	4	2
卒業論文	獣医学科	〃	6	1
基礎生命科学特論Ⅰ	動物応用科学専攻	必須	前期課程1年	2
基礎細胞生物学特論Ⅰ	〃	〃	〃	2
動物生命科学特別演習Ⅵ-Ⅰ	〃	〃	〃	2
動物生命科学特別研究Ⅵ-Ⅰ	〃	〃	〃	2
基礎生命科学特論Ⅱ	動物応用科学専攻	必須	前期課程2年	1
基礎細胞生物学特論Ⅱ	〃	〃	〃	1
動物生命科学特別演習Ⅵ-Ⅱ	〃	〃	〃	1
動物生命科学特別研究Ⅵ-Ⅱ	〃	〃	〃	1

2. 教育の理念

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

学部教育・大学院教育を通じて、学生にはその基本には論理的な思考をまずは身につけて欲しいと思っている。そして実践の場において与えられた様々な課題に対して、膨大な情報の中で、その核心を得ているような情報を選択する能力を備え、具体案を論理的思考で構築する能力が身につく教育を心がけている。

3. 教育の方法

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

事柄の大小に係わらず、その背景にある理屈を説明し、知的好奇心の喚起に努める。

(1) アクティブ・ラーニングについての取組

有

レポート課題は講義の期内の1/4にあたる内容からの重要項目を2回出題。すなわち科目でこれだけは理解し、説明できるようにして欲しいという項目。その理解と記憶を実践するために、そのレポート課題と同じ問題を出題する小テストを実施し、その項目の重要性を認識させる。

(2) ICTの教育活用

有

学内のLMSシステムを利用することにより、実践的にICT教育を実践している。

4. 教育の方法の改善・向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

(1) 教育（授業及び実習等）の創意工夫

A

レポート課題出題とレポート課題テストの実施。

(2) 学生の理解度の把握

A

レポート課題出題とレポート課題テストの実施。

(3) 学生の自学自習を促す工夫

レポート課題テストの実施。

A

(4) 学生とのコミュニケーション

オフィスアワーの設置

A

(5) 双方向授業への工夫

講義休み時間の質問時間の設置

A

(6) 国家試験対策の取組（獣医学科・臨床検査技術学科）

専門教科を十分に修学するための基礎学力の向上

A

5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

(1) 授業評価アンケート結果の授業への反映

聞き取りやすくするための話し方に恒に注力する。

(2) (1)の結果による改善・向上の具体的な成果又は課題

ゆっくりと大きな声を心がけている

(3) (2)を踏まえた次年度の取組

ゆっくりと大きな声を心がけている、を繰り返し努力する。

6. 学生の学修成果向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

(1) 現在までの学生の成績向上に資する取組及びその成果並びに今後予定している取組

事象を説明する記述能力の向上

(2) (1) の取組を通じて改善・向上が図られた学生の学修成果並びに当該取組
に対して得られた学生及び第三者からの評価又はフィードバック

レポート課題テストは記述式であるので、そこで評価していく

7. 指導力向上のための取組（FD研修参加等）

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

FD研修への参加

8. 今後の目標

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

専門教科を十分に修学するための基礎学力の向上、特に生物学的な現象・事象を記述できる論理性を習得できるようにしたい。

9. ティーチング・ポートフォリオを作成する際に活用した根拠資料

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

2023年度授業評価アンケート